

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第55号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

2月上旬 隣の福井県では記録的大雪で24時間立ち往生の車1500台、ガソリン給油制限などなど。そんな中、大手餃子チェーン店が無料提供し車まで運んだそうです。そのことを思いついた店員さんは阪神淡路大震災での無料提供の時の被災者の喜んでくれた顔を思い出してだそうです。

誰かのために、誰かの笑顔の為に・・・寒い冬の心温まるニュースでした。

第62回ワーキング会議 (2/22)

滋賀県庁 北新館 中会議室



初参加3名を含む 32名で行いました。

〈参加職種：医師・看護師・保健師・薬剤師・介護支援専門員・医薬品関係者・行政など〉。

話題提供を受けての感想、印象に残ったこと、もっときいてみたいこと



- ・「臨床宗教師」の存在・活動内容を知らなかった。
- ・宗教は遠い存在でめんどうと思うこともあるが、日頃から寄り添っていっていざというときに自然にそこにあるものだといいなと思う。
- ・宗教は亡くなってからというイメージがあった。
- ・訪看スタッフが「これでよかった?」「あれでよかったのか?」と思うことが多かった。ので、看取り期に入っていただくことでスタッフの心のケアにも繋がった。
- ・お話を聞いてあげることが大切で臨床宗教師はその時間を持つのが大切。
- ・本当に寄り添ってもらう人の存在が大切でその役割を家族でできれば理想。
- ・突然の死に対する家族・従事者にも癒しが大切。
- ・病院にも臨床宗教師が入れるといいなと思う。

★臨床宗教師自身のケアは?

「患者さんの思いは受け止めない。考えたり感じるのは患者さん。大きな守ってもらえる存在が後ろにいるという安心があって、私自身には素通りしているという感覚。私自身の中にはたまっていかなないのでしんどくならない。他の臨床宗教師は 座禅・お経をあげる などで自己ケアをしている。」

★家族へのケア

「本人と家族はなるべくわけて話を聞く。本心を吐露できないので」



苦しみ・悩み・痛み・不安に寄り添う
宗教を安易にすすめずよりそう 宗教的ケア

NHK クローズアップ現代

「穏やかな死」を迎えたい～医療と宗教 新たな試み～ 2016年8月25日放送

野々目さんが出演されています。ぜひ検索してください

次第

- ☆18:30～ あいさつ
- 18:35～ 自己紹介
- 18:45～ テーマ

話題提供

「臨床宗教師の役割とは～多死社会のなかで穏やかな死を迎えるために～」

話題提供者：沼口医院アミターバ

臨床宗教師 野々目 月泉さん

グループワーク・発表

次回のワーキンググループ会議

第63回ワーキンググループ会議

日時：30年3月22日(木) 18:30-20:00

場所：滋賀県庁 北新館 3階 中会議室

●「今年度の地域創造会議の振り返り&交流会」

参加希望の方はメールでお申し込みください。

～平成30年度の地域創造会議の活動に向けて～

今年度は大津、草津、彦根、長浜と県内各地に向向いて、ワーキンググループ会議を開催しました。各地域や個人の実践を情報共有し、それぞれの活動の場で参考にさせていただけるよう、活動紹介の時間を設け意見交換を行いました。

来年度のワーキンググループ会議で

この人に、この活動、この場所で など

皆様の「聞きたい」「知りたい」「知ってほしい」の募集をしています。

下記まで ↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 貝沼・橋本

TEL:077-528-3529 FAX:077-528-4851

E-mail:info@chikisouzoukaigi-shiga.jp

会員募集中!



H30年度予定

8月26日(日)

総会・研修会 ピアザ淡海 大会議室(大津市)

11月11日(日)

県民フォーラム 野洲文化小劇場(野洲市)

講師：上野千鶴子さん (決定しました!)